

文教経済委員会

平成20年度長崎市一般会計予算（文教経済委員会所管部分）を可決

衛生費において、ごみ収集委託費が計上されていることから、ごみ収集の民間委託地区における今後の契約方法見直しの考え方について説明を求めるなど慎重に審査を行いました。



西工場

委員会では、ごみ収集の民間委託は、市民サービスの低下が懸念されること、学校給食は安全・安心な食育が問われている今日こそ直営運営が望ましいことなどの反対意見が出されました。

一方、ごみ収集委託については、競争入札による委託地区と、随意契約による委託地区との不均衡を一日も早く解消するよう、見直しを行ってほしい、新西工場の建設に当たっては、有利な財源である合併特例債を活用するため、地域住民の声に真摯に耳を傾け、早急に事業を進めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

建設水道委員会

平成20年度一般会計予算（建設水道委員会所管部分）を可決

土木費において、稲佐山山頂駐車場整備事業費が計上されていることから、稲佐山山頂の活性化に向けての考案や各種道路整備事業に係る国の補助、起債等の制度に対する市の見解について質問するなど慎重に審査しました。

委員会では、道路特定財源の暫定税率部分は、国会の場でその是非をめぐって論議されている最中であり、取り扱いについては未確定であることから、これを盛り込んだ本予算については認められないことなどの反対意見が出されました。

一方、本予算は、地方財政計画や本市の予算編成方針に従って計上されており、市民は各事業の完成を強く望んでおり、早急に実施に移せるよう努力してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。



稲佐山山頂

特別委員会からの報告

平成19年6月定例会で設置された地域振興、安全・安心まちづくりの各特別委員会がそれぞれ調査を終了し、2月22日の本会議に調査結果を報告しました。その要旨は次のとおりです。

地域振興特別委員会

合併した旧7町地域の現状と問題点を把握し、各地域の公平で継続的な発展と特色あるまちづくりを実現させるための調査・検討を行いました。また、委員会設置から3年が経過したことから、これまでの委員会における意見・要望への対応状況について検証し、今後解決すべき課題を検討しました。

その結果、市町村建設計画等を着実に推進するため、関係部局の連携をさらに強化すること、地域の特色を生かせる行政センターの体制づくりに努めること、産炭地域活性化基金等の有利な制度を優先的に活用することなどを要望するとともに、合併後の経過措置が終了する制度等の見直し状況について調査し、問題点の改善を求めました。

さらに、今後とも地域住民との協働により、地域の特色を生かした地域振興策の研究に努めるよう要望しました。

産業振興特別委員会

本市産業の現状と問題点を把握し、本市経済の発展と雇用確保に寄与することを目的として、本市の商工業及び農水産業等の地場産業の動向を掌握し、本市産業の振興と中小企業の育成、及び雇用確保のための諸方策について、鋭意、調査検討を行いました。

特に、本市の今後の企業誘致のあり方については、製造業の誘致が雇用確保などの面から理想ではあるが、現在、誘致活動を行っている神ノ島工業団地は、分譲価格が高いことなど立地条件に克服すべき課題が大きいことから、これまでの誘致活動から根本的に発想を転換し、対象業種の見直しを検討するよう求めました。

また、本市の景気が厳しい状況であることにも目を向け、地元企業の体力強化にも力を入れ、今後とも本市経済の発展と雇用確保に向けて取り組むよう強く要望しました。



神ノ島工業団地